

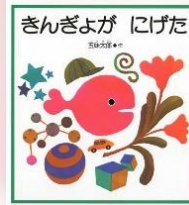
# ★ペンぎん組通信★

大和こども園 R4.7.20

子どもは、自分の顔や姿が見え隠れする遊びが大好きです。狭い空間の中やカーテンの後ろ等に隠れています。その姿を見ていた保育者は、しばらくしてから「見つけた！」と声をかけると、ニッコリ微笑んだり歓声を発したり…。そのやりとりが、それはそれは嬉しくてたまらないようです。

先日、「きんぎょがにげた」の絵本を準備しました。この絵本を知っている子もいるのか、メインである「きんぎょはどこに逃げた？」ときんぎょの行方を追って見えています。初めて見る友だちも興味津々絵本に集中し始めました。保育者も「あれ？どこに逃げた？」と一緒に探します。「居た居た」と指さしをしながら保育者とのやりとりも楽しんでいましたよ。

そんな子どもの様子を見ていて、普段の遊びの中でも自分の姿をひっそりと隠し、友だちと顔を見合わせたり保育者に「居た居た！」と声をかけられたりする面白さが、この「きんぎょがにげた」の絵本にもつながっているな、と思いました。



保育室のあちこちに、絵本のきんぎょを貼ったり、感触マットの中にも忍ばせたりしました。



そこで・・・！！

“ん？”

ここも、きんぎょ！

あった！



おった！



おさかなあ！！



“ん？”

“いたいた！！”

感触マットに気が付いたMちゃん。足元を見ています。「きんぎょいたね」と声をかけてみました。すると、口をパクパクパク！！

(以前、家の水槽の金魚の真似をして口をパクパクするんですよ！とお家の方からの可愛いエピソードがありました)

Mちゃん、エピソードの口パクパクって、この事なんだね！面白いなあ♡もしかして、本物の金魚にも見えたのかしら♡

その後、保育者がしかけようとしていたきんぎょに気が付いたRちゃん。貼ってみたいのかな？と思い、「Rちゃん貼ってみる？」と声をかけきんぎょを渡しました。すると、ニッコリ微笑みながら、窓にペタッと貼りとっても嬉しそうです。その貼りついたきんぎょを見つけた友だちも、「おった！」「いたね～」とRちゃんの貼ったきんぎょにも触れ親んでいました。

“きんぎょがにげた”の絵本をきっかけに、子どもが喜び親しみを感じながら遊んでいる様子から・・・

担任 K:「きんぎょを自分で貼る遊びを喜ぶ子も居るから、取り外しが出来るものもあったらいいかも」

担任 全員:「それ、いいね！！」

担任 M:「きんぎょのマグネットを作って、ホワイトボード等にいつでも貼ったり外したりできるのはどう？」

担任 全員:「それ、いいね！」

担任 K:「水遊びを喜ぶ子が沢山いるので、水遊びの場にもあったらいいなあ。発泡スチロールやペットボトルにも貼ろうかな」

担任 S:「それを浮かべたら可愛いですね！」

等と様々な環境構成が浮かんできました。

遊びを通して“これなんだろう？”“触れてみたいな”と、子どもの興味や関心を一緒に感じながら環境設定していきたいと思えます。

